

取組の概要

高齢者の閉じこもり防止、生きがいや健康づくり活動を行い、活気ある地域づくりを行うことを目的に、住民同士の交流の場として活動。年間計画に基づき、会食交流会や勉強会、季節ごとに七夕会や敬老会、ミニ運動会、忘年会等に取り組まれている。

グループについて

人数：13名
年齢層：60～90歳代
活動年数：18年5月

取組の詳細

○定期的な取組

- ・会食：参加者全員で交流をしながら会食を実施。また、外食交流会も実施されており、普段外食の機会が少ない参加者には非常に好評。
- ・勉強会：各会員の持っている経験や知識等を活かし、会員自身が講師となった勉強会を実施。
- ・古新聞でゴミ入れを作成し、病院や施設へ寄贈。

○季節ごとの取組

七夕会（町内小学校児童と一緒に七夕飾りづくり）、敬老会（大正琴の会との交流）、忘年会、新年会、ミニ運動会



<主体性>

- ・年度末に反省会を開催し、会員の意見も取り入れながら趣向を凝らした活動がされている
- ・会員自身が講師となり、それぞれの経験や知識等を活かした勉強会を実施

<独自性>

- ・地元の小学校やグループ等との世代間交流の実施
- ・現在感染予防のため会食等は休止中だが、会員との繋がりを保つため、ボランティアの訪問による弁当の配食を開始。

<地域貢献度>

- ・活動の中で作成したゴミ入れは病院や福祉施設等へ寄贈。寄贈したゴミ入れは各施設でも重宝されている。
- ・活動休止中も、ボランティアを中心に会館の清掃を実施。

<将来性>

- ・地域に住む高齢者だけではなく小学校や他グループ等とも繋がりを持つことができる貴重な場であり、閉じこもり予防や生きがいに繋がっている。
- ・参加者の増加に向け、地区住民等への声かけ等を積極的に実施。

PR ポイント

- ボランティアも含めた全参加者の内男性が約4割を占めており、男性の参加者が多い。
- 会員自身の考えやこれまでの経験・知識を活かした活動を実践。コロナ禍においても、繋がりを切らすことなく工夫をして熱心に活動を継続されている。